

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-130	小学校	算数科	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・501 算数・502	新しい算数 5上 新しい算数 5下	考えると見方が広がる！ 考えると見方が広がる！	

## 1. 編修の基本方針

# 豊かな学びが未来を拓く

私たちは、子どもたちに、予測困難な未来の社会に主体的に関わり、自立した人間として幸福な人生とよりよい社会を実現してもらいたいと願っています。

そして、算数科に対しては、数学的な視点から物事をとらえ、統合的・発展的に考えることに加えて、創造性を追求したり、自他の価値を尊重し真理を求め続けたりする態度などを培うことが期待されていると考えます。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、算数科における主体的・対話的で深い学びを具現化し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成をめざして編集しました。

特色

1

考えることが、  
ますます  
楽しくなる

数学的な見方・考え方を働かせ、  
学びをつなぎ、深める。  
そして、考えることを楽しむ。  
このような学習過程の実現をめ  
ざしました。

特色

2

学んだことを、  
いろいろ  
生かすことができる

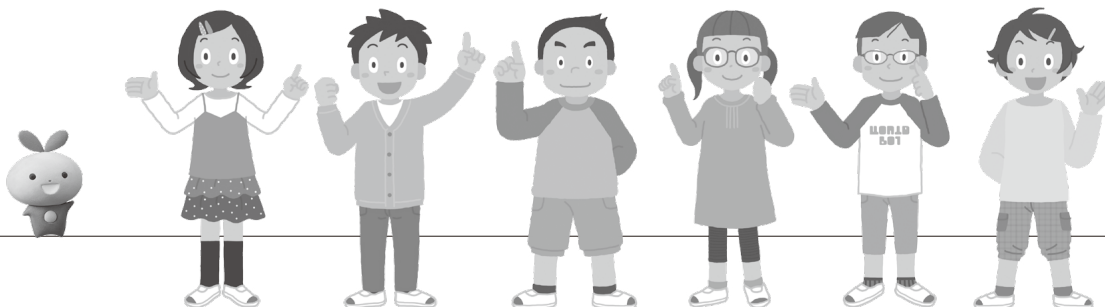
学んだことを、算数の学習や身  
近な問題の解決に生かし、生き  
て働く知識や技能に熟達する。  
学びを生かす力の育成をめざし  
ました。

特色

3

これからも、  
どんどん  
学び続けたいくなる

学びをふり返り、学びの価値や  
自身の成長を実感し、新たな課  
題をつくり出す。  
粘り強く学ぶ心、学び続ける心  
を強くすることをめざしました。



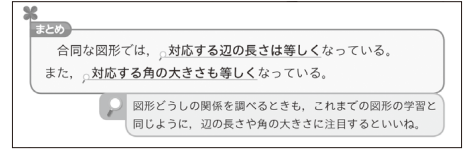
特色

# 考えることが、ますます楽しくなる

## 1 授業の「まとめ(🍀)」で、数学的な見方・考え方(🔍)も価値づけます

各時の授業の出口であるまとめでは、用語の意味や計算方法など知識や技能だけではなく、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🔍を付して価値づけました。数学的な見方・考え方を意識することで、深い学びやより確実な理解につながり、考えることがますます楽しくなります。

なお、問題解決の過程においては、まとめで価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる補助発問(①)や吹き出しにも🔍を付しています。



(上 p.75)

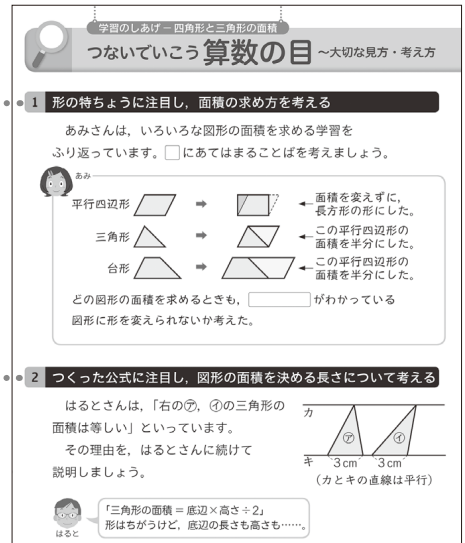
## 2 単元末でも、数学的な見方・考え方を価値づけます

単元末では、特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当ててふり返るページ「つないでいこう 算数の目」を新設しました。

学習の出口を、答えを求められるかの確認にとどめることなく、数学的な見方・考え方の成長を支えます。

また、ご指導経験の浅い先生も、本ページを参照することで、本単元で成長させたい数学的な見方・考え方をつかみやすく、教材研究の効果・効率の向上を支援します。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。



(下 p.64)

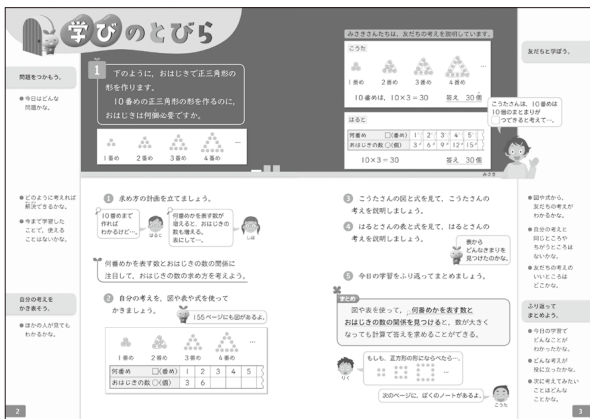
特色

# 2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

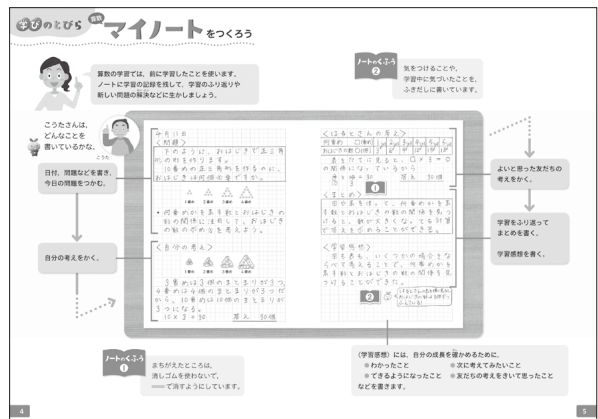
## 1 巻頭ページ「学びのとびら」で、“学び方”をふり返ります

問題解決の過程における大切な視点やノートづくりについて、前学年の学習を題材とした実際の授業を通してふり返ることができるようにしました。

このことにより、第4学年までに培った学び方を、第5学年での学び方につなぎ、生かすことができます。



(上 p.2~3)



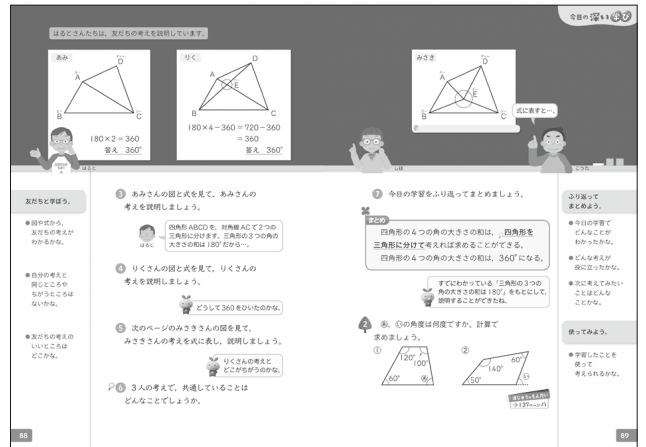
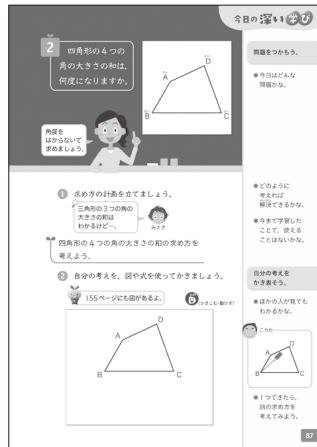
(上 p.4~5)

## 2 毎日の授業で、既習を生かして新たな問題を解決する力を育てます

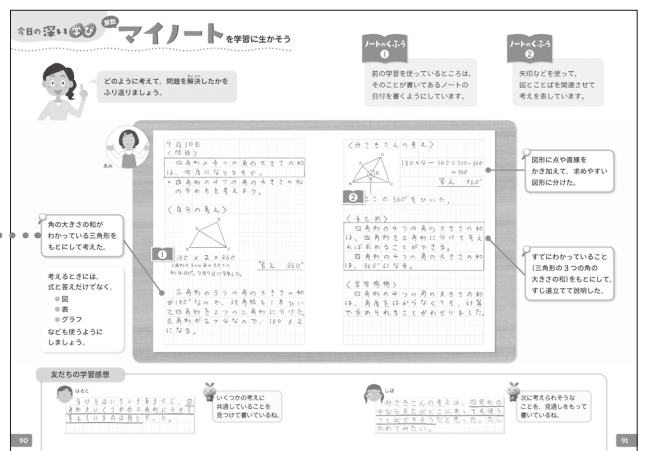
本教科書では、“どんなことに注目し、何をどのように生かして問題を解決すればいいのか”を考え実践する経験を重視しています。そこで、例えば、数学的活動をいっそう分かりやすく可視化したページ「今日の深い学び」では、側注で既習の想起を促したり、ノートを使って既習を生かした学びをふり返ったりすることを例示しました。なお、「今日の深い学び」は、学年を通して3回設定し、教材や指導のねらいに即してそれぞれ数学的活動を可視化しています(上21~25, 87~91, 下95~99)。

既習を生かして新たな問題を解決する経験を積み重ねることにより、生きて働く知識や技能の熟達がなされ、さらに学びを生かそうとする態度や学びを生かす力を育成することができます。

ノートの活用例として、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、ノートを見ながらふり返ることを示唆しています。



(上 p.87~89)



(上 p.90~91)

## 3 算数の学習を生かして、情報を活用する力や読解力を伸ばします

今日的な課題をテーマとして、数学的な視点から統計資料等を読解し、判断する力の伸長をはかるためのページ「算数で読みとこう」を新設しました(上122~123, 下126~127)。



(下 p.126)

特色

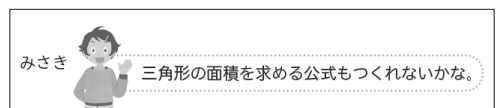
# 3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

### 1 次の学びを創出し学び続けようとする姿を例示しています

各時の終わりには、「学習のふり返し」として、次の学びをつくり出す児童の姿を例示しました。

「学習のふり返し」を用いて、学びをつくり出そうとする態度や学びをつくり出す力を育成することができます。

1 単位時間の学習の区切りのめやすとしてもご利用いただけます。



(下 p.52)

## 2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	学びのとびら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え表現することを積極的に促し、自主および自立の精神を育てるとともに、創造性を培えるようにしました。また、発達段階に配慮しながら、他者の考えを数学的に解釈したり互いに考えを検討したりする学習活動を促し、個人の価値を尊重したり道徳心を培ったりできるようにしました(各単元も同様)。(第1号、第2号)</li> </ul>	・上2～3
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の際の規律として、自主的自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を例示し、授業における学び方を理解できるようにすることで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号)</li> </ul>	・上2～3
各単元	単元プロローグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号)</li> </ul>	・上72, 下84など 各単元の導入
	各時の問題や学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の場面や問題の素材を、児童の日常生活を中心に他教科など多方面から収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号)</li> <li>・動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つようにしました。(第4号)</li> <li>・男女の区別なくそれぞれの考えの妥当性を考察する場面や、他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、常に公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くようにしました。(第3号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上9, 40～43, 下20～26, 66～92など</li> <li>・上47, 下37～38, 40, 41, 77</li> <li>・上21～23, 87～89, 下46, 95～97, 104など</li> </ul>
	囲み記事ほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な絵を描く画家や偉大な数学者等を紹介し、児童が学習で得た知識に関連づけながら、国を問わない普遍的な算数・数学のよさや日本古来の伝統に気づけるようにしました。(第5号)</li> <li>・郷土や国際社会に関心がもてるように、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータを学習素材として用いるようにしました。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下109, 135</li> <li>・上122～123, 下77</li> </ul>
巻末教材	ほじゅうのもんだい おもしろもんだい ふりかえりコーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個の学習意欲やつまずきなど、必要に応じて自主的に取り組む際に活用する教材として設定し、個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるようにしました。(第2号)</li> </ul>	・上125～151, 下133～151

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### 1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

#### ①特別支援教育への配慮

- ・すべての文章において、**文節改行(文節の切れ目で改行)**を徹底し、文章を読み取りやすくしました。
- ・問題やまとめを**枠で囲む**、**重要用語にアンダーラインをひく**などして、一目でとらえやすくなるようにしました。
- ・**ページ番号を表す数字を**、一目で他と**区別できるデザイン**にしました。

#### ②人権上の配慮

- ・ガイドキャラクターの性別を明確にしない、男子は青色の服、女子は赤色の服またはスカートなど、**固定的なイメージで性の区別をしない**ように配慮しました。
- ・活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に**偏りのない**ように配慮しました。



### ③ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・字体は、独自に新開発したUD教科書体を採用しました。このUD教科書体は、従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させたものです。
- ・すべてのイラスト、写真、図などを、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て全ページに渡って点検し、すべての児童に見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。

### ④造本上の工夫

- ・専用の軽量で丈夫な用紙の採用、上下巻分冊構成により、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。

## 2 今日の課題への取り組み

### ⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮(教材研究、教材準備などの支援)

- ・指導計画案、教材の解説、各時で働かせる数学的な見方・考え方の解説、展開案、評価規準、板書例、評価問題などで構成した教師用指導書を発行し、教材研究の効果、効率を向上させ、PDCAサイクルの遂行を支援します。
- ・指導者用デジタル教科書を発行し、教材研究、教材準備の効果、効率の向上を支援します。
- ・授業の課題やまとめを原則として全時間に設定し、本時の課題や到達点をとらえやすくしました。

### ⑥複式学級指導への取り組み

- ・関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置して、複式の年間指導計画を立てやすいように配慮しました(例：5年「小数の乗除」と6年「分数の乗除」、5年「割合を表すグラフ」と6年「データの調べ方」など)。
- ・巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、前の巻までの内容を児童が自力でふり返ることができるようにしました。複式指導の「わたり」などの際に有効に活用することができます(上150～151, 下150～151)。


### ⑦道徳教育との関連への取り組み

- ・「学びのとびら」や「今日の深い学び」の授業のページでは、他者の考えを検討する場面を示して、公平、公正に数学的な視点から検討することをいっそう可視化しました。また、「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」では他者の考えの長所を認め自分の考えを修正したりするなど、充実した集団での学びの姿を例示し、道徳教育に関連した指導ができるようにしました(上2～5, 21～25, 87～91, 下95～99)。

### ⑧教科横断的な課題(国際理解教育/キャリア教育/読解力育成/情報活用力育成など)への取り組み


- ・国際理解と自国の理解深化をテーマに、訪日外国人観光客に関する統計資料などを読解しながら課題を解決することを取り上げました(上122～123)。
- ・キャリア教育との関連から、集団の中での役割を自覚できる活動を設定しました(下84～85, 92など)。
- ・読解力や情報を活用する力の育成との関連から、今日的な課題をテーマとして、統計資料等を算数の学習を生かして読解し、判断することを扱うページ「算数で読みとこう」を新設しました(上122～123, 下126～127)。

### ⑨カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- ・単元末「たしかめよう」側注の区切り線にを付し、15分間使用の場合の区切りの目安を示しました。これにより、単元末「たしかめよう」を15分×2コマ、「つないでいこう 算数の目」を15分×1コマ(計1単位時間45分)に3分割して短時間学習で使用するなど、弾力的な時間割編成に対応できるようにしました。

## 3 その他の取り組み

### ⑩教育のICT化への取り組み

- ・問題解決における思考活動、統計学習の充実、計算、割合、速さの熟達、プログラミングの体験ツールなど、学力向上をねらいとした無料<sup>\*</sup>のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には (ディーマーク)を配しています。そして、表紙裏ではマークの意味とコンテンツへのアクセス方法を説明するとともに、二次元コード、URLを掲載しました。いろいろな端末で、簡単に使用することができます。  
※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- ・使用する際の留意事項(使用の際には、まず先生や保護者に相談すること)を明示しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-130	小学校	算数科	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・501 算数・502	新しい算数 5上 新しい算数 5下	考えると見方が広がる! 考えると見方が広がる!	

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

### 考えることが、ますます楽しくなる

新学習指導要領では、「数学的な見方・考え方」を働かせることが学習の前提となっています。この「数学的な見方・考え方」は、単に一般的な言葉で分類・整理すれば働かせることができません。確かな教材研究に基づいた授業の文脈に即しながら明示し、価値づけることが大切であると考えます。

### 1 「数学的な見方・考え方」の明示を重視しています

#### ① 各時のまとめ(🍀)～授業のゴール(まとめ)が変わります

知識や技能に加え、それらを獲得する過程で働かせた数学的な見方・考え方を🍀を付して明示し、価値づけます。このことにより、知識を統合したり、考えの共通性に気づいたりすることができ、考えること自体を楽しめるようになります。

#### ② 問題解決の過程

各時のまとめで数学的な見方・考え方を明示し、価値づけるためには、問題解決の過程においてもそれらを価値づけることが欠かせません。

そこで、まとめにおいて価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる児童の吹き出しや補助発問にも🍀を付して強調しました。

#### ③ 単元末～単元のゴールが変わります

単元の出口を「知識を知っているか」「答えを求められるか」の確認にとどめず、各単元で働かせた数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るためのページ「つないていこう 算数の目」を新設しました。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。

また、ここでは、当該の単元の内容以前の学習も含めて取り扱い、一見関係のないように見えるこれまでの学びと本単元の学びを統合的にとらえたり、数学的な見方・考え方が成長したことを実感したりすることができます。

5 あるお店で、おにぎりとおハンバーガーの安売りをしています。  
もとのねだんとねびき後のねだんを比べて、より安くなったのは、どちらといえますか。

おにぎり (もとのねだん) 160円 → (ねびき後) 110円  
ハンバーガー (もとのねだん) 200円 → (ねびき後) 150円

「差で比べると、どちらも円下がっているけど…」  
「もとのねだんがちがうから…」

ねだんの下がり方を比べる方法を考えよう。

① 上のおにぎりとおハンバーガーのねびき後のねだんは、それぞれもとのねだんの何倍になっていますか。

おにぎり 式:  $\frac{110}{160}$  答え  $\frac{11}{16}$  倍  
ハンバーガー 式:  $\frac{150}{200}$  答え  $\frac{3}{4}$  倍

まとめ  
上の、ねだんの下がり方のように、もとにする大きさがちがうときには、 $\frac{1}{2}$ 倍を使って比べることができる。

🍀 倍を表す数が小数でも、整数の倍と同じように倍を使って比べることができたね。

🍀 もとのねだんを1とみたと、ねびき後のねだんがどれだけにあたるかを表す数を、割合といいたね。

(上p.69)

学習のしあげ 直方体や立方体の体積  
つないていこう 算数の目 ～大切な見方・考え方

図形の特徴よに注目し、体積の求め方を考える

直方体の体積が「たて×横×高さ」の式で求められる理由を、長方形の面積の求め方と比べながら繰り返します。  
□にあてはまる数を書きましょう。

直方体 ① 1 cm<sup>3</sup>の立方体が、たてに□こ、横に□こならぶから、1だんに□こならぶ。  
高さが□cmなので、□だん積る。  
② 1 cm<sup>3</sup>の立方体の全部の数は、  
たて×横×高さ = □×□×□ = □だから、直方体も長方形も、辺の長さにもよりますが、  
体積は□cm<sup>3</sup>になる。

長方形 ① 1 cm<sup>2</sup>の正方形が、たてに□こ、横に□こならぶ。  
② 1 cm<sup>2</sup>の正方形の全部の数は、  
たて×横 = □×□ = □だから、面積は□cm<sup>2</sup>になる。

直方体も長方形も、もとにする大きさを決めて、その何ぶんかを考えているのは同じだね。

(上p.31)

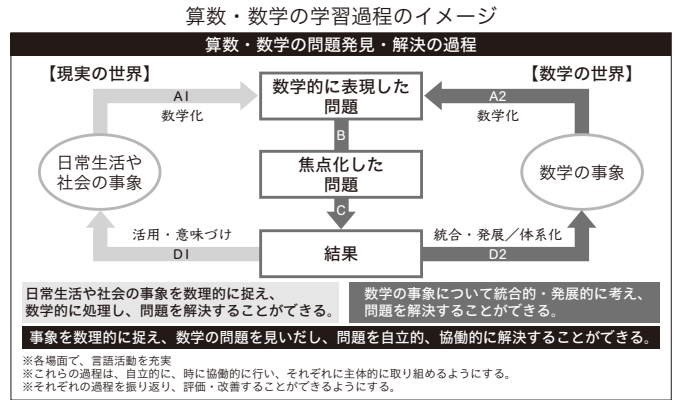
# 2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

児童の学びは、学習内容の理解や熟達、学び方、問題を解決する際の着想や態度、学習規律など多岐に渡ります。新学習指導要領の教科目標の冒頭に位置づけられた“数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して”学ぶ姿の例として、“学びを生かす学び”をデザインし、具現化することで、深い学びが実現すると考えます。

## 1 これまでの“学び方”を価値づけ、生かすことを大切にしています

巻頭「学びのとびら」では、前学年の学習範囲で解決できる問題を解決します。主体的・対話的で深い学びの一例として、“中央教育審議会 教育課程部会 算数・数学ワーキンググループ”の資料にある学習過程のイメージ(右図参照)を具現化するとともに、各学習過程における大切な視点の例、思考力・表現力の育成に深く関わるノートづくりの例を取り扱い、今後の学習に生かせるようにしました。

授業開きとして、**数学的活動を通して学習規律を含めてふり返り、以後の学びにそれらを生かすことができます(上2~5)。**



## 2 各単元の導入で、既習をふり返り生かすことで、単元の学習課題をつくり出すことができます

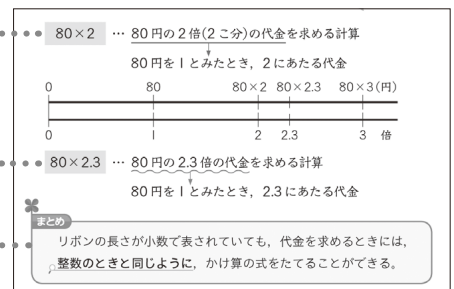
各単元の導入では、日常の場面や既習を取り上げ、**対話により単元の学習課題をつくり、主体的な学びのきっかけとするためのページ「単元プロローグ」を設定しました。**

単元プロローグを活用し**既習をふり返り生かすことを通して、新たな課題をつくり出す力を育成することができます(上8、下2 など、各単元の導入)。**

## 3 既習の内容や数学的な見方・考え方を、新たな内容の熟達に生かすことを重視しています

例えば「小数のかけ算」では、新学習指導要領で強調されている「乗法の意味の捉え直し」を丁寧に扱いました。具体的には、既習のかけ算の意味(かけられる数の何こ分)を想起しながら、前単元「比例」で掘り下げて学習した数直線の図を活用してかけ算の意味を捉え直し、かけ算の適用範囲を広げます。

「80円の2こ分の代金」(既習のかけ算の意味)を、  
「80円を1とみたとき、2にあたる代金」と解釈し直すと、  
乗数が小数の場合にまでかけ算の意味を拡張して、統合的に解釈できる。



(上p.42)

## 4 単元の学習後にも、学びを生かす力を育てる場を用意しています

新教育課程では、**数学的活動を規定するなかで、現実の世界、算数・数学の世界という2つの場における学習過程が強調されています。**そこで、原則として全単元の学習後に

単元末：学びを現実の世界で生かす「**いかしてみよう**」

巻末：学びを算数の世界で生かす「**おもしろもんだいにチャレンジ**」

のいずれかを設定しました。

**学びを生かす経験の積み重ねが、生きて働く知識や技能の熟達や、学びを生かす力の育成につながります。**また、活用、発展教材の開発の一助としても使用することができます。



## 5 プログラミング的に思考する場を用意しています

倍数の学習、正多角形の作図の学習に関連づけて、プログラミング的に思考する経験をするページ「プログラミングを体験しよう!」を新設しました(上126, 下134)。また、プログラミングによって倍数や公倍数を求めたり、正多角形を作図したりするツールを、無料のデジタルコンテンツとして用意しました。

特色

# 3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

新学習指導要領の教科目標には、学習をふり返ってよりよく問題解決しようとする態度を養うことが位置づけられています。この目標の実現のためには、問題解決後に学びを価値づけ、新たな課題を見だし追究しようとする態度の育成が欠かせないと考えます。

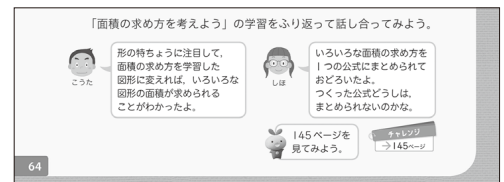
## 1 各時の終わりに、学習を価値づけ、新たな学びをつくり出す児童の姿を例示しています

各時の終わりには、前学年までと同様に「学習のふり返り」として、

- ・学習を価値づける児童の姿
- ・次の学びをつくり出そうとする児童の姿

を例示しました。学習をふり返り、次の学びをつくり出そうとする態度や、その際に働かせる数学的な見方・考え方を育成するとともに、評価の手がかりとすることもできます。

なお、各単元末「つないでいこう 算数の目」の脚注においても、対話により単元全体の学習をふり返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする姿を例示しました。



(下 p.64 「つないでいこう 算数の目」脚注)

## 2 問題解決の方法をふり返り、新たな課題を生み出し追究するサイクルを可視化しています

第15単元「帯グラフと円グラフ」は、単元を通して

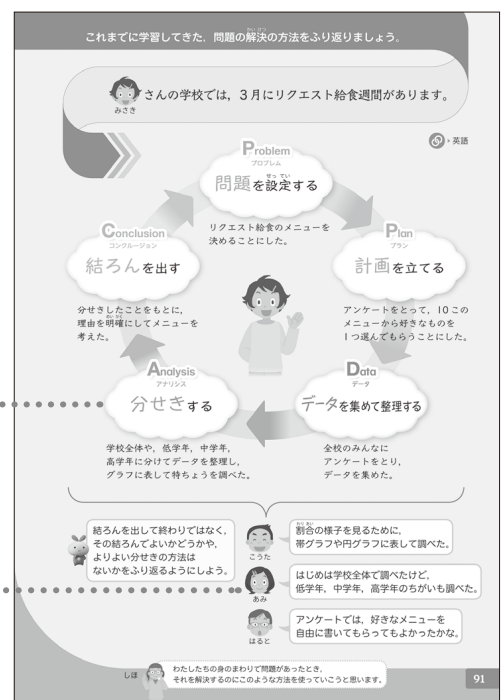
「問題を設定する → 計画を立てる → データを集めて整理する → データを分析する → 結論を出す → 結論や分析方法を見直す → 新たな問題を設定する → …」

といった統計的な問題解決の方法(いわゆるPPDACサイクル)を特に重視して設計しています。

学習の最後に、このような問題解決の方法を俯瞰して捉え、1つ結論が出たらそこで終わりではなく、よりよい結論や方法について考え、追究し続けることの大切さを強調しました。

単元の具体的場面に即しながら、問題解決の方法を視覚的に表現した図を活用し俯瞰して捉えます。

また、このサイクルを1度回したら終わりではなく、よりよい結論や方法について考え、追究を続けようとする子どもの姿を例示しています。



(下 p.91)



## 観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数学的な判断に基づき他者の考えを解釈，検討することを重視しました。これにより，自他の価値を尊重してその能力を伸ばし，創造性を培えるようにしました。(全体)</li> <li>● 郷土や国際社会に関心をもてるように，国内の世界遺産や日本を訪れる外国人観光客のデータを学習素材として用いるようにしました。(上 122～123, 下 77)</li> </ul>
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校学習指導要領(総則編)の基本方針である授業改善の推進を受けて，資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体)</li> <li>● 小学校学習指導要領(算数編)に示された目標に則り，<b>数学的な見方・考え方</b>を働かせ，<b>数学的活動</b>を通じた学習展開を重視しました。(全体)</li> </ul>
<p>学びの 系統性・連続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目次では，数学的な見方・考え方の関連も加味しながら，当該学年の学習内容の前後に位置づく学習内容を明示して<b>学びの系統性や連続性</b>を意識できるようにし，算数の学習における<b>学びの地図</b>として位置づけました。</li> <li>● 単元末「つないでいこう 算数の目」では，既習の学習も含めて<b>数学的な見方・考え方</b>を焦点化して取り上げ，以後の学習でも働かせようとする態度を養えるようにしました。(上 15, 下 18 など各単元末)</li> </ul>
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スパイラルに学習することと学習を関連づけた取り扱い</b>のバランスに配慮し，関連が強い単元を適度に隣接させるなど，単元の配列を工夫しました。(全体)</li> <li>● 練習問題は，本時の学習内容を適用して理解の確認や技能の熟達を確実にできるように，内容と時間を考慮して適切な分量を扱うようにしました。また，本文の練習問題とリンクした巻末教材「ほじゅうのもんたい」を設定しました。このことにより，知識・技能の熟達度合いの維持，向上はもとより，個に応じた<b>つまずきへの対応</b>をはかることができます。(全体)</li> </ul>
<p>知識や技能の 熟達への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各時の展開において，<b>数学的な見方・考え方</b>を働かせて既習と当該の学習をつなぐことを強調し，知識や技能の断片的な詰め込みではなく，発達段階に配慮しつつ体系化しながら獲得することを重視しました。(上 20  まとめ, 下 77  まとめ など)</li> <li>● 復習ページ「おぼえているかな？」を適宜設定しました。<b>各種学力調査の分析結果</b>をもとに問題を厳選し，熟達度合いを維持，向上させることができるようにしました。また，次単元のレディネスとなる問題には <b>じゅんぴ</b> を付し，<b>つまずきへの事前対応</b>に活用できるようにしました。<b>家庭学習でも活用できます</b>。(上 39, 71, 124, 下 19, 43, 65, 83)</li> <li>● ICT 活用の一環として，熟達に一定程度の練習が必要な<b>小数の乗除計算</b>や，<b>つまずきが見られがちな「割合」「速さ」の熟達のためのデジタルコンテンツ</b>を用意し，該当の紙面には <b>📱</b> を配しました。デジタルならではの即時的な正誤判定機能を有し，児童が楽しく飽きずに練習できるようにしました。(上 46, 58, 下 39, 77)</li> </ul>
<p>思考力・判断力・表現力の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 思考し，表現する学習活動を適切に取り入れました。特に，思考を図や式に表す，読み取る，問題を解決した後さらに発展的に考えようとする，といった学習活動を重視しました。(上 2～3, 21～23, 87～89, 下 95～97 など)</li> <li>● ICT 活用への取り組みの一環として，問題解決の際に活用できる<b>デジタルコンテンツ</b>を用意しました。思考活動の時間を長く確保し，自由度高く思考することができます。当該の紙面には <b>📱</b> を配しました。(上 21, 87, 下 45, 51, 57 など)</li> <li>● 思考を表現する場としてノートづくりを重視し，巻頭「学びのとびら」ではノートづくりの基本的な事項を，単元内の「今日の深い学び」では，ノートを活用して本時で働かせた<b>数学的な見方・考え方</b>を主眼に思考を省察することを例示しました。(上 4～5, 24～25, 90～91, 下 98～99)</li> </ul>
<p>学び続けようとする態度の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各時の終わりには，「学習のふり返り」として，学びを価値づけたり，次の学びを見いだそうとしたりする児童の姿を例示しました。(全体)</li> <li>● 「算数マイノートを学習に生かそう」では，学びを省察し，次の学びを見通しをもって創出する学習感想例を掲載しました。(上 25, 91, 下 99)</li> </ul>
<p>学習方法，展開の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 巻頭「学びのとびら」および「今日の深い学び」では，<b>数学的活動</b>をベースに<b>自立的，協働的な学び</b>をいっそう具現化しました。算数の学び方，および授業づくりの参考にしていただけます。(上 2～3, 21～23, 87～89, 下 95～97)</li> <li>● 毎時の学習において，焦点化された課題(🍀)とまとめ(🍀)を位置づけ，課題と到達点を明確につかめるようにしました。(全体)</li> </ul>

短時間学習への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●短時間学習による弾力的な時間割編成に配慮し、単元末「たしかめよう」側注に15分間ずつ分割して使用する区切りの目安を、📄を付して示しました。</li> </ul>
教科横断的な教育課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●算数の学習で扱う用語や問題解決の方法について、英語での言い方を紹介した箇所には🗣️を付して、内容の関連を意識できるようにしました。(上18, 下91)</li> <li>●訪日外国人観光客、国土利用の様子をテーマに、読解力や情報を活用する力の育成をねらいとして、統計資料等を読解し、判断するページ「算数で読みとこう」を新設しました(上122~123, 下126~127)</li> <li>●属人的な判断ではなく、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど道徳教育との関連に配慮しました。(全体)</li> </ul>
教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思考力伸長、知識・技能の熟達、効果・効率の向上、統計学習の充実、プログラミングの体験をテーマとし、多様な端末で使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(上21, 46, 58, 87, 126, 下13, 39, 45, 77, 106, 134など)</li> <li>●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や自動読み上げ、総ルビなどの機能を使用することで、特別支援教育にも効果的です。</li> <li>●指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教材も発行予定です。</li> </ul>
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色数を減らして落ち着きを出し、余白を生かしたレイアウトとしました。(全体)</li> <li>●新開発の「UD教科書体」を採用し、文字の視認性を格段に向上させました。(全体)</li> <li>●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体)</li> <li>●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行予定です。</li> </ul>

## 2. 対照表

配当時数計：158(予備時数：17)

配当月	配当時数	単元名	学習指導要領・内容名	該当箇所
				(上巻)
4	1	●学びのとびら	第4学年の内容	2~7
	5	①整数と小数のしくみをまとめよう	A(2)ア(ア)イ(ア)	8~15
5	8	②直方体や立方体のかさの表し方を考えよう	B(4)ア(ア)(イ)イ(ア)	16~31
	4	③変わり方を調べよう(1)	C(1)ア(ア)イ(ア)	32~38
6	9	④かけ算の世界を広げよう	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)(6)	40~51
	9	⑤わり算の世界を広げよう	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)	52~63
7	5	●小数の倍	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)	64~69
	2	●どんな計算になるのかな?	A(3)	70
9	8	⑥形も大きさも同じ図形を調べよう	B(1)ア(ア)イ(ア)	72~83
	6	⑦図形の角を調べよう	B(1)ア(イ)イ(ア)内容の取扱い(2)	84~95
10	12	⑧整数の性質を調べよう	A(1)ア(ア)(イ)イ(ア)内容の取扱い(1)	96~109
	6	⑨分数と小数、整数の関係を調べよう	A(4)ア(ア)(イ)イ(イ)	110~119
10	2	●考える力をのばそう	C(1)	120~121
	2	●算数で読みとこう	D(1)	122~123
				(下巻)
11	10	⑩分数のたし算、ひき算を広げよう	A(4)ア(ウ)(イ)イ(ア)(5)ア(ア)イ(ア)	2~18
	5	⑪ならした大きさを考えよう	D(2)ア(ア)イ(ア)	20~27
12	10	⑫比べ方を考えよう(1)	C(2)ア(ア)イ(ア)	28~42
	11	⑬面積の求め方を考えよう	B(3)ア(ア)イ(ア)	44~64
1	9	⑭比べ方を考えよう(2)	C(3)ア(ア)(イ)イ(ア)内容の取扱い(4)	66~82
	8	⑮割合をグラフに表して調べよう	D(1)ア(ア)(イ)イ(ア)内容の取扱い(5)	84~94
2	1	⑯変わり方を調べよう(2)	A(6)ア(ア)イ(ア)	95~99
	9	⑰多角形と円をくわしく調べよう	B(1)ア(ウ)(イ)イ(ア)内容の取扱い(3)	100~113
3	7	⑱立体をくわしく調べよう	B(2)ア(ア)イ(ア)	114~123
	2	●考える力をのばそう	C(3)	124~125
3	2	●算数で読みとこう	D(1)	126~127
	5	●5年のふくしゅう	A~D	128~132

# 編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-130	小学校	算数科	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・501 算数・502	新しい算数 5上 考えると見方が広がる！ 新しい算数 5下 考えると見方が広がる！		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上123	算数で読みとこう 問題3	I	中学校数学第2学年2内容C関数(1) ア(イ)「事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知ること。」 イ(ア)「一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。」	0.5
上144	おもしろもんだいにチャレンジ ④かけ算の世界を広げよう II	I	高等学校数学II 2内容(1) ア(ア)「三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。」	0.25
上145	おもしろもんだいにチャレンジ ⑦図形の角を調べよう II	I	中学校数学第2学年2内容B図形(2) ア(ア)「平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。」 イ(ア)「三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。」	I
下71	ますりん通信 0.5の割合で入るシュートのうまさ	I	第6学年2内容C変化と関係(1) イ(ア)「伴って変わる二つの数量を見いだし、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすこと。」	I

(「類型」欄の分類について)

- I…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容